

3. 敷地分析

3-1. 運動公園の特性

本公園の特性について、以下にまとめる。

- ・本公園は、北斗市におけるスポーツの場の拠点であり、災害時の避難空間の形成や防災性の向上、など多様な機能や役割を担っている。
- ・運動公園として、現在総合体育館、陸上競技場、野球場、テニスコート、パークゴルフ場、プールなどの北斗市の地域スポーツの需要を都市公園として受けている。またスポーツ合宿としての利用も伸びているが、利用者の多くは各競技者の利用に限られている。

3-2. 現状課題の整理

敷地分析を踏まえ、計画内容の検討及び設定に向けて現状挙げられる課題を以下にまとめる。

1) 利用者が限られた施設が多い

運動公園としての施設は充実しているが、各競技者の利用に限られている。

市内の公園で、幅広い年齢層の利用が見込める公園がないことから、幼児から高齢者、親子でも利用できる公園が求められている

2) 花見広場の排水性が悪い

花見広場には、現在多くのサクラが植えられている。

現状は、利用者が自由に利用できるため、サクラをより身近に感じられる環境ではあるが、排水性が悪いため雨天後の利用が難しく、広場利用の動機を妨げる要因となっている。また排水性が悪いことから、サクラの成育不良にも影響していると思われる。

3) 夜間照明の不足

既存公園内の園路沿いには一部を除いて照明灯が設置されていないことから、特にランニングなどでの周回コースでは、転倒の危険や防犯上も好ましくない。利用者が安全に安心して健康維持に努められるよう夜間照明を充実させると共に、周回コースを設定の上、整備が求められている。

4) 既存施設の老朽化

整備後 30 年以上経過した施設が多く、破損や腐朽、腐食など老朽化が進んでいる。再整備にあたり、既存施設の機能や役割を踏まえた撤去や更新が必要となっている。

5) バリアフリー化の検討

本公園の供用開始後である平成 18 年 6 月に制定された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」では、不適合となる既存施設、高齢者や障がい者にとっては利用が困難な施設がある。

計画では、「都市公園の移動等円滑化ガイドライン」を踏まえ、利用者の多様化を図る必要がある。